岐阜県立岐南工業高校で防災講座を行いました

令和７年７月８日（火）、岐阜県立岐南工業高等学校で土木工学科の２年生２８名に水害、３年生３３名に地震の防災講座を行いました。この学校での講座は、昨年に引き続き２回目です。

水害の講座では、ＶＲによる浸水疑似体験やマイタイムラインの作成、伊勢湾台風ＡＩ語り部との対話体験などを通して、水害の恐ろしさや早期避難の重要性を学習しました。生徒たちは、ハザードマップで自宅の浸水深を確認したり、９.１２豪雨災害の岐阜市内の被害写真を見たことにより、水害が身近なものであると認識した様子でした。

地震の講座では、能登半島地震や岐阜県で甚大な被害となった濃尾地震など過去に発生した地震、実験や映像の視聴を通して液状化現象について学習しました。また、学校周辺が揺れやすく液状化の危険があることを知った際には、驚きの声があがっていました。

最後に代表の生徒から、「しっかり準備していれば命が守れることを改めて学んだので、これからハザードマップの確認や備蓄品などを準備したい。」との感想がありました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

水害

地震